

令和元年度大阪府自主防災組織リーダー研修

熊本地震を経験して

NPO法人日本防災士会・本部参与
熊本県支部・支部長 宮下 正一

「くまモン」: 熊本県庁が2010年より「くまもとサプライズ」キャンペーンにおいて展開している熊本県PR
マスコットキャラクターである。
ゆるキャラグランプリ2011王者



九州ブロック支部連協会・防災士会の活動



九州8県(支部長)が被災地に集まった防災士の支援活動前のミーティング

(熊本県上益城郡益城町杉堂地区)



地震による練積ブロック擁壁の崩壊状況

同地区での全壊家屋の状況 練積ブロック高低差 $H=4.0$ mから 町道路上に家屋全てが崩落



熊本県益城町宮園地区



一般住宅の1階部分が潰れてしまった全壊家屋

益城町馬水地区の全壊家屋



小中学生(兄弟)の勉強机を屋外に取り出した状況

益城町平田地区の全壊家屋



玄関から家屋全体が崩落して、見るも無残に被災したある被災者宅

熊本大神宮の崩落状況



熊本城(東十八間櫓)の石垣が崩れ、大神宮を押し潰した風景

被災地の活断層帯の痕跡状況



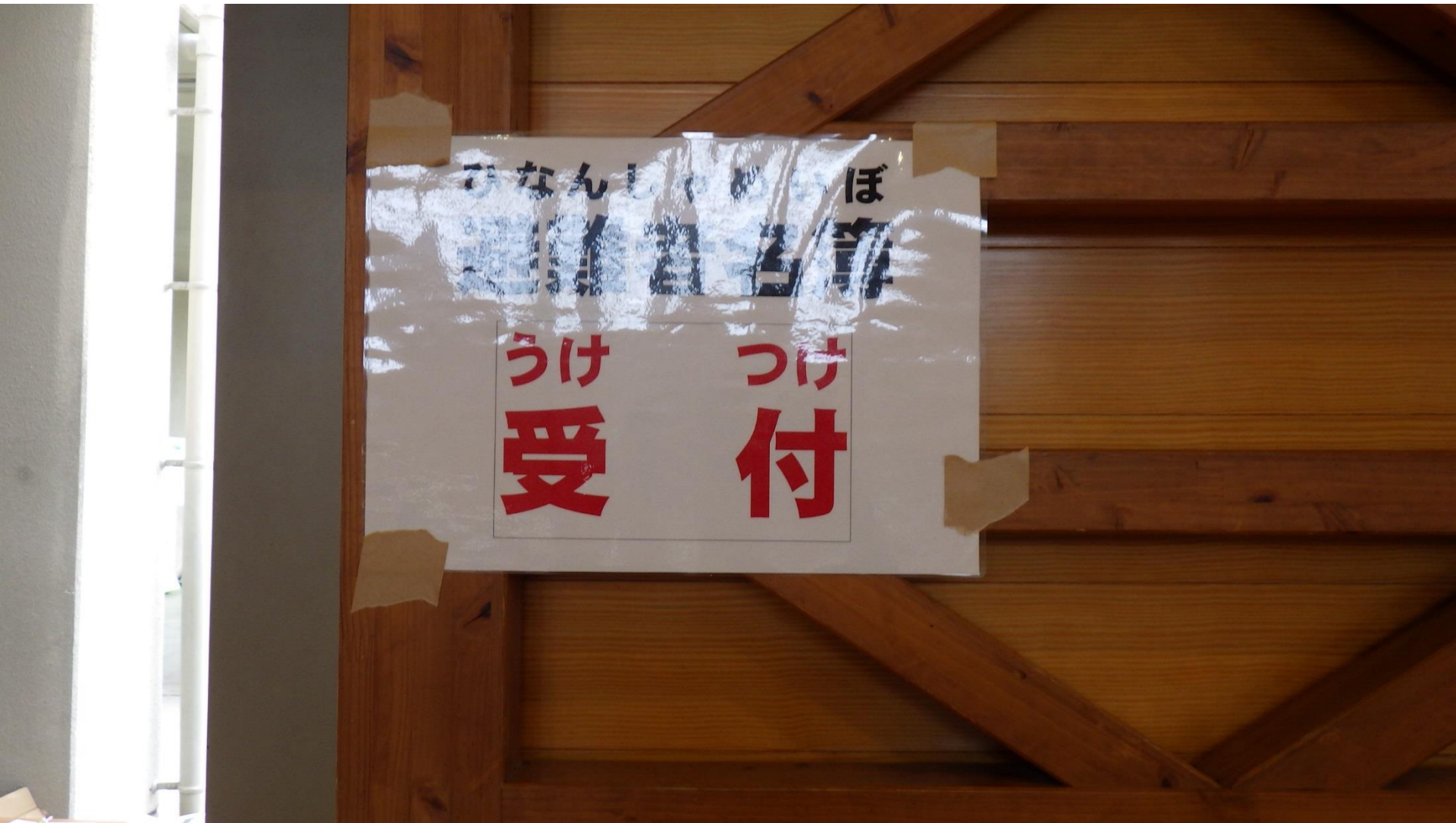


益城町堂園の麦畑の地盤が地震断層(右横ずれ)、益城町の熊本地震による震災遺構に指定された。



南阿蘇村立野の大崩壊で阿蘇大橋が(黒川に落下、地表地震断層が現れた(県道の中央線が右横ずれ、ガードレールの変形))

避難所内の表示状況



自然災害時で親族等の生存確認

益城町立広安西小の避難者の体育館



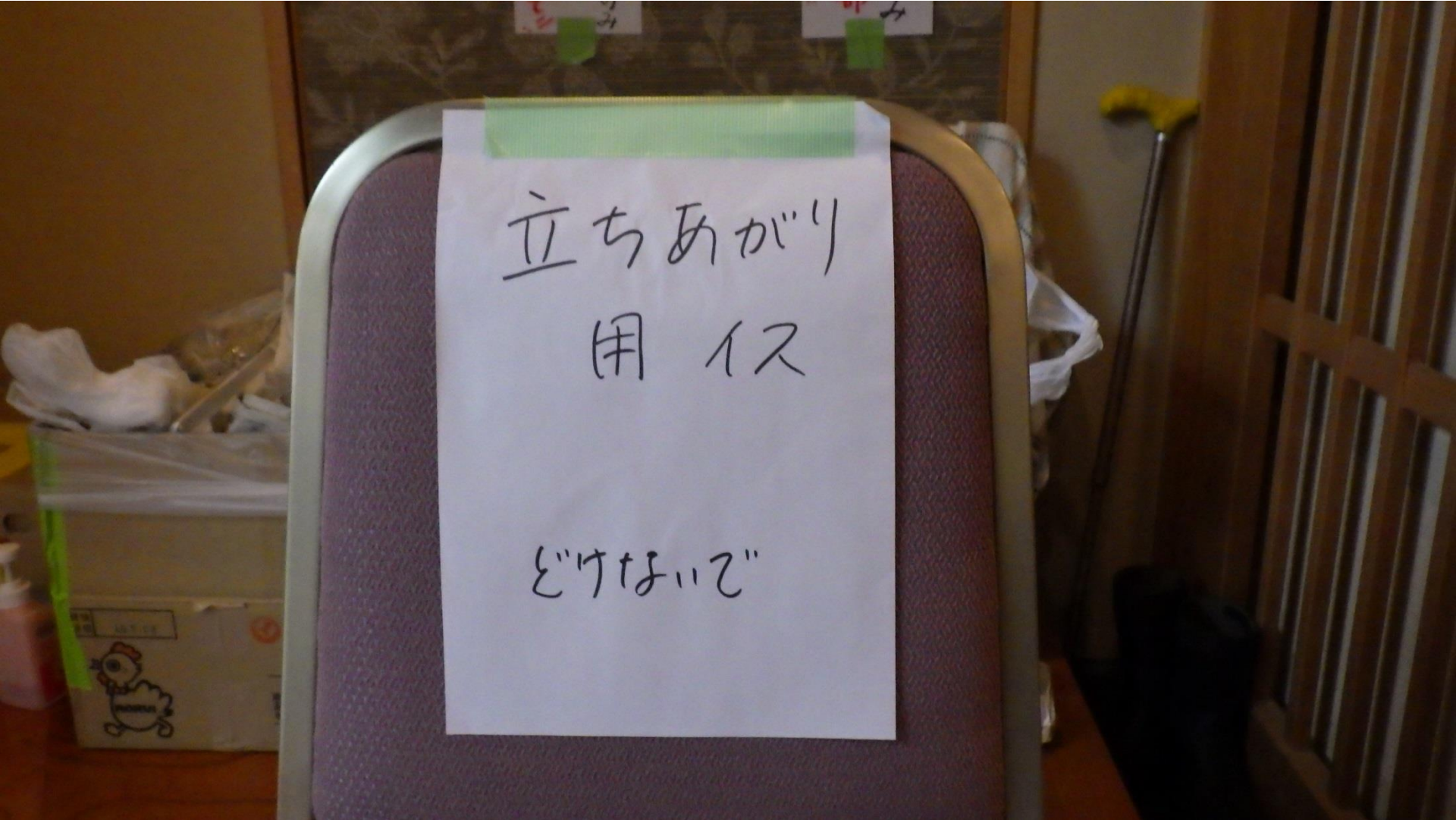
きちんと通路が設けられた避難所内の風景

益城町立体育館内の避難状況



避難場所(柔道場)内の連絡通路が不明確な避難所内の被災者

高齢者・身体障害者専用の椅子



避難所内の出入り口には「杖」も常備されていました。

ロビー及び連絡通路の避難者



左側に狭い通路はあるが、支援物資の配布が困難な状況

避難所内の皆の掲示板

・給水所の案内

・ひろやす荘

・町民グラウンド

・総合体育館

下水処理場は動いています
家庭からの排水は流さないで
下さい。逆流するおそれ
があります。何がどこから出るか
わかりません!!

ひろやす荘

安否情報 288-8750
(災害用)

本日の指定ゴミ
のゴミの回収は
ありません

明日以降の
回収も未定です

赤井田口

上砥川 戸田

中砥川 坂本

下砥川 林田

土山 水田

本土山

下鶴 菅

飯田

小池・秋永・手

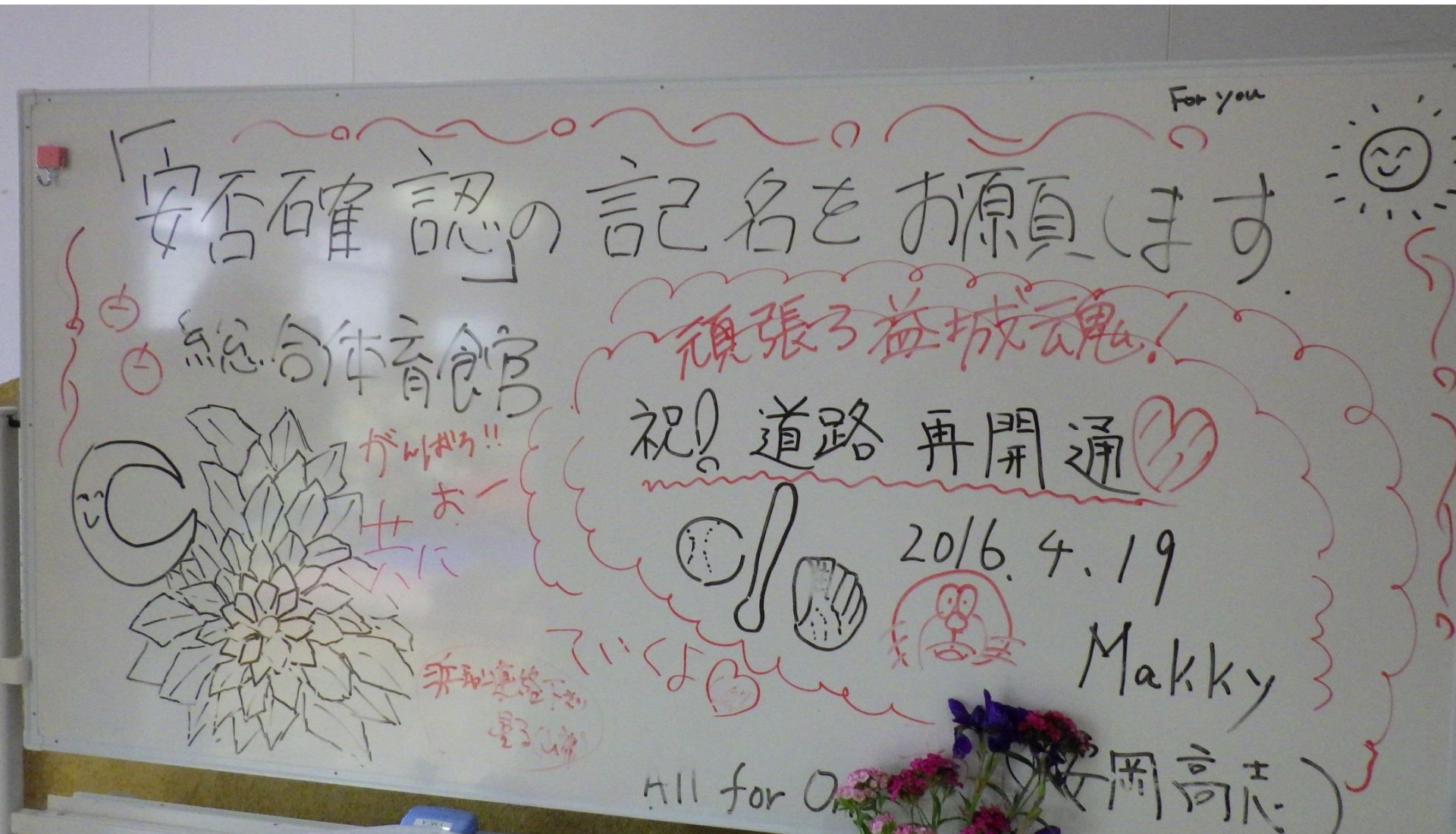
東無田 宮崎

し島

本村

被災者の安否確認の情報のお知らせ

避難所内の被災者の掲示板



被災者の安否確認の情報交換

地震発生直後から軽ワゴンで避難中の老夫婦



アルツハイマー病の予防を声掛ける女性防災士

被災地でのボランティア団体の支援活動



各種食料品等の配給場所の案内

陸上自衛隊第42連隊の炊事支援



食料の配給に並ぶ被災者の行列

全国各地から支援に駆けつけた防災士の仲間



地震対策本部長から支援活動先や作業内容等の説明状況

支援先での必要道具の積み込み状況



熊本地震対策本部を支援出発前に支援活動中の飲料水等の準備

カッターフォース付きバックホーでの支援作業



街路の空洞ブロック積の瓦礫撤去中の他県の支援防災士

四国・高知県からの防災士の支援



被災家屋の跡片付けの手伝い状況

「熊本地震現地支援本部」テント内



宮崎県災害ボランティア団体との支援打ち合わせ状況

熊本県難聴者協会の支援依頼



益城町内在住の難聴者の所在確認のお願い

熊本県益城町立体育館の玄関に掲示

館内ご案内

がんばろう 熊本
がんばろう 益城
日本防災士会

場の通常業務について

回の地震において役場
が被害を受け、室内への
入りができなくなり、役
の通常業務ができませ

面は、人命救助等災害復
優先するため、役場通常
の再開については、場所
など決定次第お知らせ
ます。

益城町災害対策本部

隊による入浴サービス
について

隊による入浴サービスを下
所で行っております。

場所)

健福祉センター

会体育館

木山中

本山中安心メール
登録のしかた

ケータイから

kiyama@gw.ansin-anzen.jp

に空メールを送信します。

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

QRコード

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

※登録メールは、

5/1

休

5/5

休

5/12

休

5/19

休

5/26

休

5/3

休

5/10

休

5/17

休

5/24

休

5/31

休

6/7

休

6/14

休

6/21

休

6/28

休

7/5

休

7/12

休

7/19

休

7/26

休

8/2

休

益城町内の全避難所に掲示

ボランティア・ホットライン
がれき撤去、室内の片付け・清掃など人手が入用の方はご連絡下さい。

Since 1987

連絡先：090-7258-5225

89
30

この案内表示により、町内の被災家屋から、
ぞくぞくと支援活動の依頼が殺到した。

地域福祉貢献に伴う支援活動



自然災害対応型の自動販売機の設置に協力(無料)

災害時の支援物資の保管倉庫



日本防災士会・熊本県支部の支援物資（飲料水・レスキュー担架・剣スコップ）等の30品目を常時保管している。（季節に応じて入れ替えを行う。）

熊本地震被害の罹災証明書申請状況



被災した自宅の被害状況を詳しく記入しています。

熊本地震NPO法人避難者支援チーム



「火の国会議」で支援活動中の各種災害対応機関(国交省)との毎日の報告会に参加

「絆」 NPO法人日本防災士会



熊本県益城町辻の城公園「熊本地震支援対策本部」
の防災士会「**解散式**」で(ハナミズキ)記念植樹

熊本地震後の研修会での活動報告



九州ブロック支部連絡協議会（鹿児島県支部）での会長挨拶

熊本県教育委員会・学校安全総合支援事業



学校防災アドバイザーとして、県立大津支援学校の教職員（50名）
に対して、防災教育研修で「クロスロード」人生の岐路を指導

熊本県立翔陽高等学校の視聴覚室にて



防災士による学校安全アドバイザーとして、教職員(60名)
に対して、「クロスロード」人生の岐路を指導

町内老人会で「熊本地震」の支援活動後の報告



地域住民(32名)への自然災害発生時の”自助”・”共助“について講演

避難所運営ラーニング(Leic)の実践



熊本県立翔陽高等学校の1年次(285名)に学校教師の「防災教育公開授業」の実施を参観

熊本市立桜山中学校での防災講座



黒髪校区防災連絡会(30名)への避難所運営ゲーム
(HUG)疑似体験するワークショップを指導

令和元年度熊本市災害ボランティアセンター設置運営訓練



国立大学法人・熊大、公立大学法人熊本県立大学・学校法人銀杏学園
熊本保健科学大学生徒(400名)に対して、土嚢袋の作成方法を指導

熊本県支部・通常総会の開催



令和元年度新防災士会員(男子17名・女性5名)合計22名が出席し、
自己紹介を頂きました。

熊本県聴覚障害者総合福祉センター



- ▶ 音声が正常に聞えない。音声の発生にも気が付かない。
- ▶ 従って、熊本地震時の避難等の音声による放送なども分からないから気が付かない。地震発生から1週間たってやっと避難所に来た聞こえない人・聞こえにくい人は多い。
- ▶ 補聴器装填の人、人工内耳装着の障害者は、耳に障害がない人と同様に聞こえるわけではない。

自然災害時の聴覚障害者等への「熊本地震」を現地で体験しての対応策について講話

聞こえない人・聞こえにくい人について

1 聞こえない人・聞こえにくい人について

- ▶ 音声が正常に聞えない。音声の発生にも気が付かない。
- ▶ 従って、熊本地震時の避難等の音声による放送なども分からないから気が付かない。地震発生から1週間たってやっと避難所に来た聞こえない人・聞こえにくい人は多い。
- ▶ 補聴器装填の人、人工内耳装着の障害者は、耳に障害がない人と同様に聞こえるわけではない。

総会時に防災士約60名に対して、災害時の障害者に対する「対応方法」と「手話」の大切さの講話

「麦わらの一味」の仲間たちの像の設置

2019. 4.17

ONEPIECE 熊本復興プロジェクト



最後に

平成28年「熊本地震」では全国から暖かい御支援を頂きありがとうございました。地震から3年を経過し、熊本県は復旧・復興が少しずつ進んでいますが、まだまだ月日は掛かりますが、創造的復興に向かって進んでいます。

自然災害はいつ、何処で起こるか分かりませんので、日本全国では毎年どこかで発生しています。私は、我が家は「大丈夫だ」と安心するのが一番「危険」だと思います。自然災害がいつ自分の身に降りかかっててもいいように備えておきましょう。それが”自助”です。

ご清聴ありがとうございました。